

サプライヤー/パートナー のビジネス行動規範

2022 年 12 月

はじめに

Cloud Software Group 基準

本行動規範は、Cloud Software Group と協力して働くすべての第三者ビジネスパートナー（サプライヤー、ベンダー、パートナー、ディストリビューター、再販業者、下請業者、代理店、およびそれらの従業員、職員、請負業者（以下、総称して「サプライヤー/パートナー」）を含みますが、これに限定されない）に対して当社が要求する事項を定めるものです。

本行動規範は、多数の事柄に言及していますが、すべてを包含する、またはすべての状況に対応することを意図して策定されているわけではありません。

皆さんが以下に掲げる基本的なガイドラインに従うことにより、Cloud Software Group は、高い水準のビジネス行動を維持できるようになります。

- 適切な判断、常識、高レベルの倫理的な行動の基準を用い、すべての適用法令および適用される Cloud Software Group のポリシーを常に遵守する
- Cloud Software Group のすべての社員、顧客、パートナーおよびその他の第三者に対し、正直かつ公正に接する
- 利益相反に該当する、またはそのように見えかねない活動、経済的利益、関係を開示する。必要に応じて書面による事前承認を取得する。
- 社員が懸念を表明できると感じられるような環境を作る
- Cloud Software Group、ならびにその顧客や第三者の専有情報および機密情報、資産、リソースを保護し、適切に活用する
- 非倫理的行動など、法律、本行動規範、および Cloud Software Group のポリシーの違反となる可能性のある事案や実際の違反事案について、疑問または懸念がある場合は、常に質問し、または懸念を表明する。皆さんが希望し、皆さんの国で許可されている場合には、秘密裏に匿名で質問や懸念事項を提起することができます。本行動規範の末尾にある「問い合わせと懸念の報告」を参照してください。
- Cloud Software Group の質問、監査、調査の実施に協力する

Cloud Software Group は、本行動規範および/または適用されるポリシーの違反者とな

った第三者に対して、迅速かつ一貫した行動を取ります。これには、懲戒処分、取引関係の解消およびその他の法的救済が含まれます。

倫理的な行動

Cloud Software Group の職場

敬意をもって、すべての社員を公正に処遇してください

Cloud Software Group は、社員の多様性とすべての人の機会均等を重んじています。さらに、社員の幸福は当社にとってきわめて重要です。Cloud Software Group は、職場環境、つまり Cloud Software Group コミュニティがそこで機能するための環境と、会社にとってなくてはならない人々の双方を尊重しています。

サプライヤー/パートナーは、雇用関係のあらゆる側面において、人種、肌の色、宗教、性別、民族、出身国、妊娠・出産・関連する症状、障害、年齢、婚姻状況、病状、退役軍人の地位、国籍、性的指向、遺伝情報、連邦や州、地域の法律、条例、規則で保護されているその他の根拠、あるいは職務上の資格やサプライヤー/パートナーの正当な事業利益に関係しないその他の要素に基づく差別やハラスメントを容認してはなりません。

Cloud Software Group の積極的、健康的、安全な職場環境への取り組みの一環として、Cloud Software Group はサプライヤー/パートナーが誠実さ、正直さ、尊敬というコアバリューを遵守することを期待しています。脅迫的、無礼、または敵対的な職場環境を作る行為、および業務遂行を阻害する行為は、固く禁じられています。

暴力その他の有害な行為は、決して行ってはなりません。そのような行為には、以下のものが含まれます。

- 身体的または精神的危害の脅迫
- 暴力またはいじめ行為

Cloud Software Group

- **Cloud Software Group**、サプライヤー/パートナー、顧客の事業所内またはイベントでの違法薬物または他の規制物質（承認済みの医療目的のものを除く）の流通、販売、所持

サプライヤー/パートナーの人員が違法薬物または他の規制物質（承認済みの医療目的のものを除く）を使用している場合、もしくはその影響下にある場合、当該人員は **Cloud Software Group** の事業所内、**Cloud Software Group** のイベント、職場にいることはできません。サプライヤー/パートナーは、安全で健康的かつ衛生的な労働環境を提供し、適用される安全衛生法を遵守する必要があります。また、サプライヤー/パートナーは、児童労働、賃金、労働時間、および労働条件に関連する法律を含み、ただしこれに限定されない、適用されるすべての労働法を遵守する必要があります。さらに、**Cloud Software Group** は、**Cloud Software Group** のサプライヤー/パートナーコミュニティのすべての構成員による奴隷労働、人身売買、強制労働、児童労働を禁止し、これらを容認しません。サプライヤー/パートナーは、奴隷制度、人身売買、強制労働、児童労働に関連するすべての法律と規制を遵守するとともに、これらに対抗するための積極的な措置を取ることが要求されます。また、業務の遂行や商品の製造と包装に関連する場合に適用されるすべての環境法を遵守することも必要です。サプライヤー/パートナーは、環境リスクを管理するための適切なポリシーおよびシステムを確立している必要があります。

利益相反の回避

利益相反とは、**Cloud Software Group** による、または **Cloud Software Group** に代わって、あるいは **Cloud Software Group** に対して、製品およびサービスの販売を行うことに関して、サプライヤー/パートナーが完全な客観性を持って行動できる能力について疑義がある状況を指します。サプライヤー/パートナーが **Cloud Software Group** または **Cloud Software Group** の従業員や請負業者との間に利益相反が存在する、または利益相反の可能性があると感じた場合は、すべての関連する詳細を **Cloud Software Group** のコンプライアンスオフィスに報告する必要があります。サプライヤー/パートナーは、サプライヤー/パートナーの現役の従業員、役員、取締役または代表者が、現時点で **Cloud Software Group** の従業員である場合や **Cloud Software Group** の従業員と直接の家族関係がある場合は、その旨を報告する必要があります。直接の家族関係がある者には、両親、兄弟姉妹、配偶者またはパートナー、子供を指し、それぞれの事例に

Cloud Software Group

において、婚姻によって生じた関係（義兄弟、義母、継子など）も含まれます。

事業の保護

会社資産の保護

Cloud Software Group、顧客、パートナーおよびサプライヤーの資産、特に機密情報を、確実に保護してください

Cloud Software Group の資産は、Cloud Software Group との関係に沿った正当な事業目的にのみ使用してください。Cloud Software Group の資産を与えられた社員は、その資産について認められていない使用、紛失、破壊を防止する適切な措置が取られていることを確認する責任を負います。サプライヤー/パートナーは、機密情報を含む当該資産を、Cloud Software Group 基準および/または皆さんと Cloud Software Group との契約条項に準拠した方法で保護する必要があります。

Cloud Software Group の機密情報は、貴重な資産です。機密情報は、Cloud Software Group の業務目的に限定して、認められた方法でのみ使用します。

機密情報の定義

機密情報とは、競合他社にとって価値がある、または漏洩された場合に Cloud Software Group や顧客、パートナー、ベンダーに悪影響を及ぼす可能性がある、Cloud Software Group との契約中にアクセスが提供されたすべての非公開情報を意味します。

これには、Cloud Software Group が受領し、機密保持義務を負う特定の第三者の情報（機密保持契約などを通じて）も含まれます。また、サービス提供のために顧客がアクセス権限を与えるデータが含まれる場合もあります。

自分もしくは他者が機密情報を漏洩した、または Cloud Software Group の資産を不正に使用した可能性があると思われる場合は、それが不注意によるものであっても、この問題を Cloud Software Group の担当者に報告するか、本行動規範の末尾にある「問

Cloud Software Group

い合わせと懸念の報告」に記載されているリソースを活用して Cloud Software Group まで報告してください。

Cloud Software Group の知的財産の保護

知的財産は、Cloud Software Group の事業の「命」です。確実に保護してください。

Cloud Software Group の知的財産

Cloud Software Group が保有する知的財産は、Cloud Software Group の事業にとって非常に価値が高いため、その権利を成立させ、また、これを保護・防衛することはきわめて重要です。これらの資産に占有や機密である旨のラベル、または著作権表示やその他の指定が付けられていない場合でも、これらの資産を保護するための行動を取らなければなりません。

知的財産の定義

知的財産とは、営業秘密、ノウハウ、特許、著作物、商標や、これらの権利を具体的に化体した、ソースコードなどの物を意味します。

他者の知的財産権

サプライヤー/パートナーは、**Cloud Software Group** の知的財産権を保護するだけでなく、他者の知的財産権も尊重する必要があります。また、多くの国において、知的財産の盗用や不正流用は、その行為に従事した個人に対する刑事罰を伴う可能性があります。

以下のことを励行してください。

- サプライヤー/パートナーと第三者との間の同意に基づいて行っているのではない限り、第三者の機密情報を直接的または間接的に貸与、複製、ダウンロード、使用、配布したり、または、許可されていない者（許可されていないサプライヤー/パートナーの社員や外部の個人を含みます）に対して開示したりしない。
- 特に承認を受けていない限り、第三者のソフトウェア（オープンソースのソフトウェアを含む）を **Cloud Software Group** のサービス成果物に組み込まない。
- ソフトウェアライセンス契約の規約・条件（例えば、複製、リバースエンジニアリング、プログラムの配布を禁じた条項など）を読み、遵守する。

個人情報の保護

社員、請負業者、顧客および第三者のプライバシーを必ず保護してください

Cloud Software Group のビジネスの一環として、**Cloud Software Group** は従業員、顧客、パートナーとその従業員、顧客、ベンダーに関する個人情報（「**Cloud Software Group** の個人情報」）を収集し保持する場合があります。**Cloud Software Group** の個人情報には、特定された個人もしくは特定が可能な個人についての情報、および個人に関連する、もしくは関連付けが可能な情報が含まれます。具体的には、個人の教育、経済状況、雇用、健康についての情報などが含まれます。一般的な個人情報としては、名前、住所、電話番号、IP アドレス、生年月日、社会保障番号その他の身分証明書番号、クレジットカード番号、銀行口座番号などが挙げられます。

Cloud Software Group

Cloud Software Group では、プライバシーを保護し、またデータ保護に関する法律を遵守するため、サプライヤー/パートナーに以下のことを義務付けています。

- Cloud Software Group の業務を介して取得または収集した Cloud Software Group の個人情報の機密性を必ず保持する。
- Cloud Software Group の個人情報は、自己の業務の遂行に必要な場合にのみアクセスして使用する。
- Cloud Software Group の個人情報は、偶発的な損失、改ざん、許可されていないアクセスなどを不用意に招かないように取り扱う。
- Cloud Software Group の明確な承認がない限り、Cloud Software Group の部外者に対して個人情報を決して開示しない。
- 単発プロジェクトの完了時または Cloud Software Group とのビジネス関係の終了時に、Cloud Software Group の機密情報を消去する（Cloud Software Group からそのように指示された場合にも常に機密情報を消去する）。
- Cloud Software Group の[サプライヤーセキュリティ基準](#)および[サプライヤーデータ処理補遺](#)を含む、個人情報および/または機密情報の取り扱いに関する Cloud Software Group との契約条件を熟知し、遵守する。

Cloud Software Group の個人情報が許可なく使用、紛失、漏洩されたと思われる場合は、すぐに privacy@cloud.com に報告するか、本行動規範の末尾にある「問い合わせと懸念の報告」に記載されているリソースを活用してください。

社内要件や規制および法律上の要件を確実に遵守するために、Cloud Software Group が情報システム、リソース、およびインフラストラクチャを監視することが許されていることをご承知おきください。

顧客および第三者との対応

事業の正しい遂行

サプライヤー/パートナーの事業は、常に倫理的、誠実、かつ公正に遂行されなければなりません

真実を話してください。

誰に対しても、口頭や書面で偽りの説明をしたり、不誠実または誤解を招いたりするような文言を使用してはなりません。これは、あらゆる事業領域およびすべての関係に適用され、また、口頭または書面による偽りの説明が行われたのがどのような場であるかを問わず適用されます。

正確かつ誠実な記録を維持してください。

サプライヤー/パートナーは、財務状況と業績に関して、あらゆる面で完全かつ正確で時宜を得た情報を提供する必要があります。サプライヤー/パートナーの帳簿や記録は常に正確であり、また **Cloud Software Group** とのすべての取引についても、インバウンドであるかアウトバウンドであるかにかかわらず、公正に反映している必要があります。**Cloud Software Group** の事業に関連して提出する文書は必ず完全かつ正確で時宜を得ていることを確認し、適切な承認と署名を得ていることを確認してください。これには、注文、コスト、販売、出荷、財務情報、経費報告、時間報告、その他の当社に関するあらゆる重要な情報が含まれます。いかなる取引についてもすべての当事者は、適切に承認され署名された契約書および補足文書により、完全かつ正確に開示されなければなりません。パートナーは、エンドユーザーの購入について拘束力のあ
るコミットメントに対応する注文のみを行う必要があります。

情報の入手は適切に行ってください。

市場で競争するためには、競合の情報を収集する必要にしばしば迫られます。そのような情報を収集する際は、サプライヤー/パートナーは **Cloud Software Group** のポリシーに従って、適法に行うものとします。他社（競合相手を含みます）や事業機会に関する情報を収集するには、適切な方法を用いた場合にのみ認められます。

不法侵入、強盗、詐欺、盗聴、窃盗、ハッキング、詐欺などの違法行為は禁止されています。競合他社の現在または過去の従業員、請負業者、顧客、パートナーやサプライヤーなどの第三者から機密情報を求めたり、機密情報であることを知りながら当該情報を受け取ったりしてはなりません。

贈答品や接待が適切であることを確認してください

接待や贈答品、その他の便宜などはすべて、妥当なものでなければなりません

贈答品や接待は合法的なものであり、Cloud Software Group との契約に関連した正当な事業目的のためのものである必要があります。贈答品や接待には、食べ物、飲み物、イベントのチケット、旅行、ロゴアイテム、景品、賞品など、提供または受領される可能性のある、価値のあるあらゆるものが該当します。

贈答品や接待の提供および受領は適切にビジネス関係を強化するためによく行われる、一般的な商慣習です。しかしながら、サプライヤー/パートナーによる現在または将来のパートナーやサプライヤーや顧客など（Cloud Software Group の従業員や請負業者も含む）との贈答品のやりとりや接待は、本質的に控え目なものであり、不適切な印象を与えることがないように注意する必要があります。

政府職員および役人は、特にサプライヤーまたはその候補者からの贈答品や接待を受けることについて、厳しい制限事項や禁止事項があります。 サプライヤー/パートナーは、政府/公共部門の職員または役人と取引しているときにはその旨を認識し、かかる制限事項や禁止事項のすべてを遵守する責任があります。 詳しくは以下を参照してください。

皆さんと相手方との間の誠実なビジネス関係に影響を与え得る（または、影響するよう見られ得る）ような価値のあるもの（特に贈答品、接待、その他の便宜）は、決して提供、要求、または受領してはなりません。また、Cloud Software Group の事業活動に関連して、現金、あるいは現金等価物（例えば、ギフト券やクーポンなど）を直接的または間接的に提供する、申し出る、または受領することは決してできません。

贈答品や接待の提供はしばしば、適切にビジネス関係を強化する、一般的な商慣習で

Cloud Software Group

す。しかしながら、サプライヤー/パートナーによる現在または将来のパートナーやサプライヤーや顧客など（Cloud Software Group の従業員や請負業者も含む）との贈答品のやりとりや接待は、本質的に控え目なものであり、不適切な印象を与えることがないように注意する必要があります。

Cloud Software Group の顧客およびパートナーによっては、先方の従業員に対し、いかなる種類・価格の贈答品の（直接的か間接的かを問わず）提供を禁じていることがあり、先方のポリシーを尊重する必要があります。

贈答品の制限事項や禁止事項を回避するために、第三者（社外コンサルタント、リセラー、サプライヤー、代理店など）を決して利用してはいけません。

贈答品、接待、その他の便宜は適切に記録され、会社の財務記録に計上される必要があります。いかなる目的でも副資金や「簿外」資金を作ることは固く禁じられています。

賄賂の供与や申し出は、絶対に行ってはなりません。

Cloud Software Group は、地域の慣習や他社との競争の激しさにかかわらず、賄賂、キックバック、その他の不適切な支払いを一切許容しません

政府職員や役人に対する有価物の提供および贈与に関する法律や規則は複雑です。民間企業の個人に対しては許容されることであっても、政府/公共部門の職員または役人においては不法行為となる可能性があります。責任は関係先の企業だけでなく、個人にも及ぶ可能性があります。政府が一部でも所有している企業の従業員は、政府職員または役人とみなされる可能性があることに注意してください。

決して、金銭またはその他の価値のある物を、次に掲げる目的のために、申し出、提供、要請、または受領してはなりません：

- 取引の獲得、維持、誘導
- 何らかの優遇的な取扱いや不適切な業務上の便宜の提供または享受

このルールを回避するために、サプライヤー/パートナーは第三者（社外コンサルタント、リセラー、サプライヤー、代理店など）を決して利用してはいけません。例え

ば、その第三者が、自己が受け取った金銭や価値のあるものを、政府職員や役人などの別の第三者に渡す可能性があると思われる場合には、そのような金銭や価値のあるものを提供してはいけません。社外コンサルタントやリセラー、または第三者に支払われる手数料、コミッション、経費は、適切な請求に基づき、また、それらの者から提供される実際のサービスの水準に照らして妥当なものでなければなりません。

海外腐敗行為防止法（FCPA）と英国贈収賄防止法を含む、Cloud Software Group の事業に関連する腐敗防止法を常に完全に遵守します。これらの法律は、事業の遂行場所に関わらず、Cloud Software Group とその第三者に適用されます。

個人の政治家、公職者または公職者候補、政府機関の保有者、政党、委員会、慈善団体に対し、皆さんが Cloud Software Group を代表して直接的または間接的に献金することは禁止されています。

Cloud Software Group のマーケティングスポンサーシップの目的は、Cloud Software Group のビジネス、製品、サービス、ブランドの販売促進であり、直接的または間接的に個人を不当に利することであってはなりません。

Cloud Software Group の事業に関連した特定の国で勤務または出張するサプライヤー/パートナーの人員は、時折、通常は費用がかからない特定の特権やサービス、措置に関して、外国の政府職員や役人またはその他の者から金銭を支払うことを求められることがあります。このような種類の支払いは、しばしば利益供与金として知られていますが、許可されていません。また、このような金銭を Cloud Software Group が支払うことや払い戻すことはありません。

ロビイング

立法機関のメンバーまたは従業員、あるいは立法や公共政策の策定に携わる政府関係者や従業員に対する直接的または間接的なロビー活動に関与する場合、サプライヤー/パートナーは、当該政府関係者や従業員に対して、サプライヤー/パートナー自身のために話をしていることを明確にし、サプライヤー/パートナーが Cloud Software Group やその関連会社の立場を代弁しているという印象や、代表しているという認識を与え

Cloud Software Group

ないようにする必要があります。Cloud Software Group の最高法務責任者の書面による明確な事前承諾がない限り、サプライヤー/パートナーが Cloud Software Group のためにロビー活動を行うことは固く禁じられています。 サプライヤー/パートナーは、Cloud Software Group の商取引に関連する自身の活動が、現地の法律の下でロビー活動に該当する可能性があることを認識し、関連するすべての登録および報告に関する要件を遵守する責任があります。 Cloud Business Group の外部コンサルタント/ロビイストは、サプライヤー/パートナーをアドバイスしたり、代理したりするものではありません。

重要な法律と規則

国際貿易取引規制を尊重してください

Cloud Software Group の事業には、複雑かつ厳格な国際貿易取引規制が適用されます

多くの国では、国家安全保障や対外政策などさまざまな理由により、輸出入や国際金融取引などの国際取引を規制しています。

サプライヤー/パートナーのすべての事業活動は、米国の貿易取引に関する法律と規則、および **Cloud Software Group** とサプライヤー/パートナーが事業を行う国々における同様の法律を完全に遵守しなければなりません。

特に、暗号化機能を備えた **Cloud Software Group** 製品を含め、暗号化機能を採用した製品の米国からの輸出および海外からの再輸出は、輸出管理規制によって制限されています。このような製品は、輸出や再輸出の前に、米国商務省による審査やライセンスが必要となる場合があります。また、そのような規制により、特定の技術を非米国人に提供することも制限されています（その提供の場所を問いません）。

また、**Cloud Software Group** 製品は、特定の指定された国、事業体、および個人とのほとんどの取引を禁止する規制の対象となる場合があります。

皆さんは、**Cloud Software Group** との関わり（米国外を含む）において、米国の貿易規制が適用されるかどうかを理解する責任があります。

常に、公正に競争を行ってください

Cloud Software Group は、グローバル市場において、自由で公正かつオープンに競争します

サプライヤー/パートナーは、すべての競争法を遵守するとともに、不当に競争を制限する行為に従事することを避けなければなりません。競合他社や取引業者、ディストリビューター、リセラー、パートナー、または顧客との取引の際には、独占禁止法や不正競争防止に関する法律、あるいは貿易取引規制に関する問題が発生することがあ

ります。

Cloud Software Group のサービスを行う際には、注意して次の点を回避してください：

- ・ 市場での優位性を確保するために、Cloud Software Group またはサプライヤー/パートナーの機密情報を不適切に共有すること。
- ・ 事業者団体や標準化団体、コンソーシアム、その他の業界団体において、コストや価格、販売条件、販売地域、競争入札、顧客などに関して、競合他社の従業員との話し合うこと。

懸念の報告

懸念を報告してください

サプライヤー/パートナーは、本行動規範や Cloud Software Group のポリシーおよび法律に違反する可能性について、質問し、懸念を報告する義務を負っています。皆さんが安心して質問し懸念を報告することが重要であるため、Cloud Software Group では、ご希望に応じて内密かつ匿名で質問や懸念報告ができるよう、さまざまな手段を提供しています。ただし、Cloud Software Group が事業を行う一部の国では、匿名での懸念報告は認められていません。

報復の禁止

Cloud Software Group は、法律、本行動規範、および Cloud Software Group のポリシーの違反の可能性を善意に基づいて報告した者、またはその解決を支援した者に対する報復行為や敵対的行為をいっさい容認しません。いかなる形であれ報復されたと感じた人は、以下のいずれかの連絡先に報告してください。

報復行為に関与したことが判明した者はすべて、その他の取引関係の終了を含む懲戒処分の対象となることがあります。

皆さんが希望し、皆さんの国で許可されている場合に、秘密裏に匿名で質問や懸念を提起する方法について説明します。

善意に基づいて懸念を感じている限り、相談の際には、必ずしもサプライヤー/パートナーの本行動規範や Cloud Software Group のポリシー、または法律もしくは規則に違反しているとの確証がなくとも構いません。以下のリソースは、皆さんの懸念を真摯に受け止めて、寄せられた問題に対処するためにガイダンスとして提供されるものです。

[EthicsPoint - Cloud Software Group](#) の Cloud Software Group オンラインヘルプラインを使用して報告してください**

Cloud Software Group は報告されたすべての事例を速やかに確認します。場合によっては、Cloud Software Group が法律違反について監督当局や法執行機関に報告することがあります。

** Cloud Software Group のヘルプラインサービスは、皆さんが誠意を持って機密を保持し、皆さんの国で法的に認められている場合には匿名で懸念事項を報告できるように、第三者による運営管理が行われています。ヘルプラインでは、匿名を通し続ける方法とそれが許容されるかどうかについても案内しています。